



枇杷の家

主催 = 公益財団法人東松山文化まちづくり公社

共催 = 東松山市教育委員会

協力 = 彩の国さいたま芸術劇場

助成 = 一般財団法人地域創造

2020年3月7日(土)・8日(日)

両日とも 14:00 開演(開場は開演の30分前)

東松山市民文化センターホール

〒355-0024 東松山市六軒町5-2

チケット発売

2019年12月下旬

チケット料金・全席指定

一般 2,500円(※メンバーズ2,000円)

高校生以下 1,500円

◆あらすじ

風子(六十五歳・未亡人)は、異常にポジティブである。そのうえ、妄想癖までありそうだ。薫(六十五歳・独身。会社員だったが今は無職)は、やや斜にかまえた毒舌家。月子(五十八歳・独身。フリーランスのライター)は、恋に無縁だと悩みつつ常に冷静なタイプである。そんな三人が、庭に大きな枇杷の木がある一軒家を借り、シェアハウスとして暮らし始めて3年目を迎えている。

リビングでは、何かと理由をつけて宴会が始まる。酔いがまわると、三人のディープな本音が怒濤のごとく飛び交い絡み合う。アラ還の大人の女だからといって、古くからの友人だからといって、優しいわけでも、思いやり豊かなわけでもない。言いたい放題、むしろ、わがままである。言葉のバトルとささやかな癒しが交差する三人の日常である。

そんな中、薫はどうやらお付き合い始めた男性がいるようだ。と、同時に風子にもそんな男性の存在が明らかになる。風子と薫がそれぞれ月子に語った『すらりと姿の良い素敵なおじさま』は、ビジュアルだけではなく、天才的な褒め言葉までそっくりだ。月子だけが知ってしまった危険な関係はある日、枇杷の家でドラマチックな結末に向かう。

昭和、平成、そして令和へ…。東松山から「新しい家族の物語」を。

《出演》 ? years ago



大林弘子 (椿風子 役)



小川知 (柳原薫 役)



菜月ひとみ (牧野月子 役)



比島順 (徳永銀次郎 役)

作 = 緑川有

演出 = 瀬戸山美咲



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities



beyond
2020



公益財団法人
東松山文化まちづくり公社